

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債、資本の状況

(単位：億円)

	2014年度末	2015年度末	前年度末比
資産合計	32,711	32,263	△448
負債合計	23,367	23,000	△366
資本合計	9,343	9,262	△81
親会社所有者帰属持分（自己資本）	7,900	7,827	△73
（利益剰余金）	（ 1,307）	（ 1,559）	（ 251）
（その他の資本の構成要素）	（ 1,018）	（ 689）	（ △328）

〔ご参考〕

現金及び現金同等物	3,620	3,808	187
有利子負債	5,784	5,349	△435
ネット有利子負債	2,164	1,541	△623
D/Eレシオ	0.73 倍	0.68 倍	△0.05 倍
ネットD/Eレシオ	0.27 倍	0.20 倍	△0.07 倍
親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）	24.2 %	24.3 %	0.1 %

当年度末の資産合計は3兆2,263億円と、前年度末から448億円減少しました。第4四半期の売上規模が前年同期より減少したことにより、売上債権が減少しました。

負債合計は2兆3,000億円と、前年度末から366億円減少しました。金利低下の影響などにより退職給付に係る負債は増加しましたが、社債の償還により有利子負債が減少したほか、仕入債務が減少しました。

資本合計は9,262億円と、前年度末から81億円減少しました。当期利益の計上により利益剰余金は増加しましたが、為替や株価の変動によりその他の資本の構成要素が減少しました。

なお、親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）は24.3%と前年度末から0.1ポイント増加しました。

② キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2014年度	2015年度	前年度比
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,801	2,530	△270
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,005	△1,643	361
I+II フリー・キャッシュ・フロー	796	887	91
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△173	△677	△504
IV 現金及び現金同等物の期末残高	3,620	3,808	187

〔ご参考〕

キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.1 年	2.1 年	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ	46.9 倍	48.3 倍	1.4 倍

(注) キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー÷支払利息

当年度の営業活動によるキャッシュ・フローは2,530億円のプラスと、前年度からは270億円の収入減となりました。前年度に国内子会社からの配当金に係る源泉所得税の還付が約260億円ありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,643億円のマイナスと、前年度からは361億円の支出減となりました。無形投資の減少に加え、資産の一部売却もあったことなどによります。

フリー・キャッシュ・フローは887億円のプラスと、前年度からは91億円の収入増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還実施などにより677億円のマイナスとなりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は前年度末から187億円増加し、3,808億円となりました。

③ 年金の状況

(単位：億円)

	2014 年度末	2015 年度末	前年度末比	
a. 確定給付制度債務	△24,843	△24,342	501	
b. 制度資産	21,808	20,745	△1,062	
c. 確定給付負債（資産）の純額（a）＋（b）	△3,035	△3,596	△561	
(確定給付制度債務の計算の基礎に関する事項)				
割引率	国内	0.7%	0.3%	△0.4%
	海外（主に英国）	主に 3.4%	主に 3.4%	-